



Press Information

VP09-023

2009年5月25日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン、ニュルブルクリンク 24 時間レースでシロッコ GT24 が AT(代替燃料)及び 2.0 リッターガソリンターボエンジンクラスでそれぞれクラス優勝

2009年5月24日、ウォルフスブルク発:

世界でもっとも過酷な耐久レースであるニュルブルクリンク 24 時間レースに、天然ガスおよびガソリンエンジンを搭載したフォルクスワーゲンシロッコが参戦し、2 つのクラスで優勝を成し遂げるという素晴らしい結果を残しました。バニナ イクス(ブラジル)、ペーター テルティング(ドイツ)、クラウス ニーツヴィーズ(ドイツ)、トーマス クレンケ(ドイツ)が運転する、革新的なエコフューエルテクノロジーを採用したシロッコ GT24-CNG は、よりパワフルな数多くのライバルを凌ぎ、代替パワートレイン(AT)カテゴリーで優勝、総合でも 17 位に入りました。ジミー ヨハンソン(スウェーデン)、フローリアン グルーバー(ドイツ)、ニッキィ ティーム(デンマーク)、マルティン カールホファー(オーストリア)の若手ドライバー4人組がドライブしたガソリンエンジン搭載のシロッコGT24は、2リッターターボエンジン(SP3T)クラスで、フォルクスワーゲンに3年連続優勝をもたらし、総合でも15位という素晴らしい成績を残しました。

アルトフリッド ヘーガー(ドイツ)、コンフー・チェン(中国)、カルロ ファン ダム(オランダ)、フランク マイラー(フランス)組のシロッコ GT24 は SP3T クラス 3 位(総合 20 位)、フォルクスワーゲンの研究開発担当取締役 Dr. ウルリヒ ハッケンベルク(ドイツ)、ベルント オストマン(ドイツ)、ピーター ヴィス(スイス)、ジョン バーカー(英国)組は AT クラスで準優勝を飾りました。カルロス サインツ(スペイン)、ディーター・デッピング(ドイツ)、ウォルフガング カウフマン(ドイツ)、パトリック シモン(ドイツ)がドライブする5台目のシロッコは、その速さを見せながらも、日曜日の朝のアクシデントによって惜しくもリタイアとなりました。

「ダカール」勝者とドイツの俳優が見守る中、フォルクスワーゲン シロッコ R がデビュー

絶好のレース日和となった伝説のノードシュライフェ(ニュルブルクリンク北コース)で開催されるレースに訪れた 235,000 人の観客は、過酷でスリリングな 24 時間レースを堪能したばかりでなく、265 馬力のエンジンを搭載した史上もっともパワフルなスポーツクーペ、新型シロッコ R の世界デビューにも立ち会うことになりました。シロッコ R は、アイフェルのローラーコースターを周回するパレードで、「ダカール」勝者、ジニール・ドゥビリエ(南アフリカ)、ディルク フォン ツイツェヴィッツ(ドイツ)の乗ったレース トゥアレグと共にファンの前に登場しました。フォルクワーゲン チームを応援する多くのゲストの中には、俳優のエロール・サンダー氏やマーク・ケラー氏の姿も見られました。

言うまでもなく、ドイツ サッカー チャンピオンシップにおいて、ブンデスリーガに所属する VfL ウォルフスブルクが優勝したことは、ニュルブルクリンクでも大きな話題となっていました。24 時間レースの開始前に、Dr. ウルリヒ ハッケンベルク、カルロス サインツ、クリス ニッセンが、生放送で VfL チームの健闘を祈るメッセージを競技場に伝え、ウォルフスブルク優勝の直後には、ピットボードのメッセージおよびコックピットのドライバーからお祝いの言葉が届けられました。

クリス ニッセン、フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター

「2 リッター ターボクラスでハットトリックを達成できたことを大変嬉しく思います。また、天然ガスを燃料とするシロッコ GT24-CNG が実現可能な代替システムであることも証明することができました。この難しいサーキットで安定した走りを見せてくれたドライバーの皆さんに、心から賛辞を送りたいと思います。レギュレーションの変更によって、今回のレースは以前より明らかに競争が厳しくなりました。単にラップを刻むだけではなく、無数のオーバーテイクを行わなければならなくなったのです。1 日の終わりに、チーム全体が力強いパフォーマンスを見せることが困難になりましたが、我々は、注意深い準備とレース中の完璧な作業によって 2 つのクラスで優勝を成し遂げたのです。」

#114 – フォルクワーゲン シロッコ GT24-CNG – AT クラス 2 位 – 総合 101 位

Dr. ウルリヒ ハッケンベルク(ドイツ):「世界でもっとも過酷なレースの一つにエコフューエル天然ガス技術を搭載した車で参戦するという、我々の勇気ある決断が正しいことが証明されました。フォルクスワーゲンは、燃料として天然ガスが過小に評価されているのは根拠のないものであり、天然ガス車両が従来の燃料を使用した車と同等のスポーツ性を持っていることを示しました。優勝したチームの全ドライバーは、低排ガス技術の可能性をフルに活用し、あらゆる期待を上回る結果を出しました。」

#115 – フォルクワーゲン シロッコ GT24-CNG – AT クラス 1 位 – 総合 17 位

バニナ イクス(ブラジル):「シロッコ GT24-CNG のデビューに参加することができて大変光栄です。生物学者として、私は、天然資源の有効活用とモータースポーツという 2 つの大きな情熱を持ってこのレースに臨みました。そのどちらも完全に新しいものです。」

#116 – フォルクワーゲン シロッコ GT24 – SP3T クラス 3 位 – 総合 20 位

コンファー・チェン(中国):「2 度目の 24 時間レースで、再びチェッカーフラッグを受けることができ嬉しいです。このレースでは良い成績を残すことができましたが、それには外から見るとも大きな困難が伴いました。私にとって、このレースは初めての大きなツーリングカーレースであり、チームメイトの素晴らしいサポートに大変感謝しています。特に豊富な経験を持つアルトフリッド ヘーガーは、ルーキーの私にとって最高の先生でした。」

#117 – フォルクスワーゲン シロッコ GT24 – リタイヤ

カルロス サインツ(スペイン):「不運なアクシデントが発生するまで、我々は非常に良いポジションを走っていました。アクシデントに巻き込まれたウォルフガング カウフマンに過失はまったくありません。今回のレースは、去年よりも楽しんでいたので、このような結果に終わって残念でなりません。ノードシュライフェのコースにも大分馴れてきましたし、雰囲気も非常に良好でした。我々のチームは、素晴らしいパフォーマンスを見せていましたので、また来年このレースに参加して今回の雪辱を果たしたいと思います。」

#118 – フォルクワーゲン シロッコ GT24 – SP3T クラス 1 位 – 総合 15 位

ニッキィ ティーム(デンマーク):「この 24 時間レースで完走を目指したのは 3 回目で、今回は初めてフォルクスワーゲンでの参戦となりましたが、クラス優勝を果たすことができました。シロッコ GT24 は大変速い車ですが、難しいノードシュライフェのコースでも楽に乗りこなすことができました。シロッコをドライブしている時も、またフォルクスワーゲンチームのメンバーとしても、大変心地良く今回のレースに参戦することができました。」